

令和元年度事業報告書

公益社団法人第8期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

2020年6月27日総会提出

公益社団法人日本地理学会が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款4条1号）
- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款4条2号）
- ③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業（定款4条3号）
- ④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款4条4号）
- ⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款4条5号）
- ⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款4条6号）
- ⑦ その他目的を達成するために必要な事業（定款4条7号）

I 事業の状況

- ① 研究発表会、学術講演会等の開催による地理学研究の推進事業（定款4条1号）

1) 研究発表会等

集会名	開催年月日	参加者
(1)秋季学術大会(新潟大学)	2019年9月21日～9月23日	461名
一般（口頭）発表（95）、ポスター発表（45）、シンポジウム(3件・20)	9月21日～9月22日	
第36回地理教育公開講座	9月22日	83名
研究グループ集会(11件)	9月22日	
懇親会(生協第1学生食堂)	9月22日	155名
巡検2件	9月23日	
(2)春季学術大会(開催中止)	2020年3月27日～3月28日	
一般（口頭）発表（205）、ポスター発表（105）、シンポジウム(4件・27)		

2) 総会等

- (1) 定時総会（第1回）2019年6月22日 出席者16名 委任状76名 合計92名
- (2) 代議員会（第1回）2019年9月21日 出席者43名 委任状59名 合計102名
（第2回）2020年3月26日 開催中止（資料を代議員に郵送の上、質疑応答を一定期間行う）
- (3) 理事会 4回・常任理事会 12回

- ② 学会誌及びその他の刊行物の発行による地理学研究の普及事業（定款4条2号）

1) 学会誌の刊行

- (1) 「地理学評論（Geographical Review of Japan Series A）」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成31年 5月1日	92	3	3,500部
令和元年 7月1日	92	4	3,500部
令和元年 9月1日	92	5	3,500部
令和元年 11月1日	92	6	3,500部
令和2年 1月1日	93	1	3,500部
令和2年 3月1日	93	2	3,500部

計6冊(92巻3号~93巻2号)432ページ

論説5編、短報8編、会長講演1編、書評33編、学会記事等を掲載した。

(2) オンライン学会誌「Geographical Review of Japan Series B」(J-STAGE 公開)を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号
令和元年 12月27日	92	1
令和2年 3月31日	92	2

計2冊(92巻第1号・92巻2号電子ジャーナル)83ページ

92巻1号には、プログレスレポート1編、翻訳論文2編を掲載した。92巻2号には、論説2編を掲載した。

(3) オンライン学会誌「E-journal GEO」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号
令和元年 7月3日	14	1
令和元年 12月26日	14	2
令和2年 2月22日	15	1

計3冊(14巻1号~2号、15巻1号・電子ジャーナル)410ページ

14巻1号には、調査報告4編、特集「都市気候環境研究」前書き1編、調査報告6編、G空間EXPOシンポジウム報告2編、14巻2号には、調査報告3編、解説記事1編、地理教育総説記事1編、地理紀行1編、シンポジウム報告8編、巡検記報告1編を掲載した。15巻1号には、調査報告6編、地理紀行1編、シンポジウム報告3編を掲載した。

2) その他の刊行物の刊行

「日本地理学会発表要旨集」を下記のとおり発行した。

発行年月日	号	発行部数
令和元年 9月10日	96	750部
令和2年 3月30日	97	500部

計2冊(96号~97号)520ページ

③ 関連学会等との連携及び協力並びに社会連携・社会教育の推進事業(定款4条3号)

- 1) 地理関連学会連合に加盟し、代表を送り、事務局を務めた。
- 2) 地理学連携機構に加盟し、代表委員を送った。
- 3) 日本地球惑星科学連合に加盟し、代表を学協会長会議および学協会連絡委員会に送るとともに、関連する委員会に必要に応じて委員を送った。
- 4) 人文・経済地理関連学会協議会に加盟し、代表委員を送った。
- 5) 自然史学会連合に加盟し、代表を送った。
- 6) 日本ジオパーク委員会活動に協力し、委員を送った。
- 7) 防災学術連携体に参加し、代表を送った。
- 8) 以下の27件について、他学会との交流を行った。
 - (1) 日本学術会議公開シンポジウム「繰り返される災害—少子高齢化の進む地域で生き抜くということ—」(後援) 2019年4月5日(金)に日本学術会議講堂において開催された。
 - (2) 第7回中部ライフガードTEC2019—防災・減災・危機管理展(後援) 2019年5月30日(木)~5月31日(金)にポートメッセなごやにおいて開催された。
 - (3) 2019年日本地球惑星科学連合大会 2019年5月26日(日)~30日(木)に幕張メッセにおいて開催された。
セッション「人間環境と災害リスク」、「環境リモートセンシング」、「Geographic Information Systems and Cartography」、「地理情報システムと地図・空間表現」、「ジオパーク」(共催)
 - (4) 第6回「震災対策技術展」大阪(後援) 2019年6月6日(木)~6月7日(金)にコングレコンベンションセンターにおいて開催された。
 - (5) 第31回地図地理検定(後援) 2019年6月16日(日)に開催された。
 - (6) 空間情報シンポジウム2019(後援) 2019年7月10日(水)東京コンファレンスセンター・品川、18日(木)大阪 ナレッジシアター、7月19日(木)名古屋コンベンションホールにおいて開催された。
 - (7) 第29回国際地図学会議(後援)

- 2019年7月15日(月)～20日(土)に日本科学未来館・東京国際交流館プラザ平成において開催された。
- (8) 全国中学校地理教育研究会第60回全国研究大会(後援)
2019年8月2日(金)・8月3日(土)に日本大学経済学部において開催された。
- (9) GIS day in 伊勢2019(後援)
2019年8月10日(土)に皇學館大学において開催された。
- (10) 第58回地図ならびに地理作品展(後援)
2019年9月7日(土)～22日(日)に広島市こども文化科学館において開催された。
- (11) 「地図展2019 近代京都150年を俯瞰する」(後援)開催
2019年9月13日(金)～9月23日(月)に琵琶湖疏水記念館・京都市国際交流会館において開催された。
- (12) GPS/GNSS シンポジウム2019(協賛)
2019年10月16日(水)～18日(金)に東京海洋大学越中島キャンパスにおいて開催された。
- (13) 鳥取県「第21回児童生徒地域地図発表作品展」(後援)
2019年10月23日(水)～12月14日(土)に鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、倉吉未来中心、とりぎん文化会館において巡回展示が開催された。
- (14) 「防災推進国民大会2019 セッション 日本学術会議公開シンポジウム / 第8回防災学術連携シンポジウム」
防災推進国民大会2019 セッション 日本学術会議公開シンポジウム / 第8回防災学術連携シンポジウムが、10月19日(土)名古屋ささしまライブ24エリアにおいて開催された。
- (15) 第14回日中韓地理学会議(後援)
2019年10月19日(土)～21日(月)に岡山大学において開催された。
- (16) 2019年度「初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰」(後援)
2019年10月20日(日)に徳島大学常三島キャンパスにおいて初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員に対し、表彰が行われた。
- (17) 岐阜県「第25回児童生徒地図作品展」(後援)
2019年10月20日(日)～11月10日(日)に岐阜県図書館において開催された。
- (18) 旭川市「第29回私たちの身のまわりの環境地図作品展」(後援)
2019年10月26日(土)・27日(日)に旭川市科学館サイパルにおいて開催された。
- (19) 第32回地図地理検定(後援)
2019年11月10日(日)に開催された。
- (20) 創造的復興に寄与する先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本(後援)
2019年11月20日(水)・21日(木)にグランメッセ熊本において開催された。
- (21) 多摩市「第23回身のまわりの環境地図作品展」(後援)
2019年11月29日(金)～12月1日(日)にパルテノン多摩において開催された。
- (22) GIS day in 中国2019(後援)
2019年12月5日(木)に広島大学において開催された。
- (23) 日本学術会議公開シンポジウム「地球環境変動と人間活動——世界各地で急速に深刻化する地球温暖化の影響と対策」(後援)
2019年12月21日(土)に日本学術会議講堂において開催された。
- (24) GIS day in 東京2019(後援)
2019年12月21日(土)に首都大学東京南大沢キャンパスにおいて開催された。
- (25) 第23回全国児童生徒地図優秀作品展(後援)
2020年1月4日(土)～3月5日(木)に地図と測量の科学館、国土交通省1階展示コーナー、科学技術館4階ギャラリー、NHK大阪放送会館アトリウムにおいて開催された。
- (26) 北淡国際活断層シンポジウム2020(後援)
2020年1月14日(火)～1月17日(金)に北淡震災記念公園 野島断層保存館セミナーホールにおいて開催された。
- (27) 第24回「震災対策技術展」横浜(後援)
2020年2月6日(木)～7日(金)に横浜国際平和会議場において開催された。

④ 研究の奨励及び研究業績の表彰による学術の発展と科学技術の振興事業（定款4条4号）

1) 令和元年度日本地理学会賞受賞者を表彰した。

優秀論文部門（1名）：芝田篤紀
若手奨励部門（1名）：松宮呂子
論文発信部門（1名）：崎田誠志郎
優秀著作部門（1名）：本岡拓哉
著作発信部門（1名）：横山祐典
地理教育部門（1名）：碓井照子
学術貢献部門（1名）：海津正倫
社会貢献部門（1名）：今尾恵介

2) 以下の2件について、出版助成を行った。

市川康夫著：『多機能化する農村のジレンマ—ポスト生産主義後に見るフランス山村変容の地理学—』勁草書房
渡辺康代著：『近世城下町の付祭りの変化—伊賀国上野と下野国烏山を事例に—』海青社

3) 斎藤 功研究助成として、若手研究者に対する南北アメリカ研究助成を行った。

申 知燕：「トランスナショナルな移住によるエスニック・ビジネスと都市空間の変容に関する研究」

4) 吉野正敏研究助成として、若手研究者に対する気候・気象学に関する調査・研究助成を行った。

鶴島大樹：「日本列島における雷活動の中・長期変動と気候変動との関係」
中村祐輔：「ドップラーライダーの移動観測に基づく都市境界層構造の実態把握」

⑤ 資格認定、地理教育の支援等による地理学的知識・技術の普及及び社会貢献事業（定款4条5号）

1) GIS 学術士資格認定制度

2019年度は3回の委員会を開催した。2020年2月28日現在のGIS学術士実績証明団体は27、GIS専門学術士実績証明団体は10である。GIS学術士27名、GIS専門学術士0名、GIS学術士（見込み）19名の認定を行った。

2) 地域調査士資格制度

2019年度は4回の講習会及び4回の委員会を開催した。講習会の受講者は、地域調査士講習会230名、専門地域調査士講習会13名であった。また地域調査士17名、専門地域調査士14名の認定を行った。2020年3月末現在、学部科目については24大学・27学科（コース）、大学院科目については5大学院の開設科目が認定されている。さらに、2014年度から地域調査士認定に「申請前部分審査」制度を導入し、年度内の認定の適合審査で104名が認定された。地域調査士通信を発行した（2019年9月第10号）。

3) 「G空間EXPO2019」（2019年11月30日（土））に参加し、「令和時代のツーリズム空間—地域戦略のまなざし—」の企画を実施した。シンポジウムは40名の参加者があった。

4) 独立行政法人国際協力機構（JICA）と国土交通省国土地理院との後援を受け、サマースクール（2019年9月10日（火））を実施した。9名の参加者があった。

5) 国際地理オリンピック大会（香港）を支援した。44カ国・地域166名の選手が参加し、日本選手は銅メダル一つを獲得した。参加国・地域中第27位であった。

6) 一般市民を対象とする地理教育公開講座「新・小中高地理教育における課題と展望—身近な地域調査—」（秋季学術大会；参加者83名）を実施した。

7) 秋季学術大会において、一般市民を対象とする公開講座「ジオパークは観光地理学の研究対象となるのか？—研究と地域のはざまでなすべきこと—」（参加者約50名）、「新潟県中越地震から15年—被災地の復興支援活動と今後の課題—」（参加者100名）、地理総合公開講習会「『国際理解と国際協力』の指導を考える」（参加者83名）、GIS講習会「GISで見る地域の環境—地理院地図、今昔マップを使って—」（参加者45名）、を実施した。

8) 秋季学術大会および春季学術大会で、高校生によるポスターセッションを実施した。開催中止となった春季学術大会については、ホームページ上に各ポスターの要旨を掲載した。秋季14件、春季47件。秋季学術大会では、優れたポスター発表に対して賞を授与した。

⑥ 地理学に関連する国際的な研究協力の推進事業（定款4条6号）

1) 日本地球惑星科学連合 2019 年大会

共催セッションとして「人間環境と災害リスク」、「環境リモートセンシング」、「Geographic Information Systems and Cartography」、「地理情報システムと地図・空間表現」、「ジオパーク」を関連学会と共催して提案した。

2) 第 14 回日韓中地理学会議 (後援)

2019 年 10 月 19 日 (金) ~21 日 (月) に岡山大学において開催された。村山会長が基調講演を行った (参加者数は日本 40 人、韓国 28 人、中国 59 人、計 127 人)。

3) アジア地理学会議評議会 (Council Meeting of the Asian Geographical Association 2019)

2019 年 11 月 1 日に北京市で開催され、日本が副理事国 (24 カ国・地域中 6 カ国・地域) の一つに選出された。

⑦ その他目的を達成するために必要な事業 (定款 4 条 7 号)

1) 東日本大震災ほかの災害に対する調査研究および社会貢献事業

2) ジオパークに関する調査研究および社会貢献事業

II. 処務の概要

① 役員等に関する事項

令和元年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	松原 宏	平成 30 年 6 月 23 日		なし	東京大学教授	
常務理事	非常勤	箸本 健二	平成 30 年 6 月 23 日	総務専門委員長	なし	早稲田大学教授	
常務理事	非常勤	松井 圭介	平成 30 年 6 月 23 日	財務専門委員長	なし	筑波大学教授	
理事	非常勤	梶田 真	平成 30 年 6 月 23 日	総務専門副委員長	なし	東京大学准教授	
理事	非常勤	平井 誠	平成 30 年 6 月 23 日	財務専門副委員長	なし	神奈川大学教授	
理事	非常勤	松本 淳	平成 30 年 6 月 23 日	集会専門委員長	なし	首都大学東京教授	
理事	非常勤	久保 純子	平成 30 年 6 月 23 日	集会専門副委員長	なし	早稲田大学教授	
理事	非常勤	小口 高	平成 30 年 6 月 23 日	交流専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	山田 晴通	平成 30 年 6 月 23 日	企画専門委員長	なし	東京経済大学教授	
理事	非常勤	須貝 俊彦	平成 30 年 6 月 23 日	広報専門委員長	なし	東京大学教授	
理事	非常勤	森島 濟	平成 30 年 6 月 23 日	E-journal GEO 編集専門委員長	なし	日本大学教授	
理事	非常勤	大城 直樹	平成 30 年 6 月 23 日	地理学評論編集専門委員長	なし	明治大学教授	
理事	非常勤	鈴木 康弘	平成 30 年 6 月 23 日	Geographical Review of Japan Series B 編集専門委員長	なし	名古屋大学教授	
理事	非常勤	秋本 弘章	平成 30 年 6 月 23 日	地理教育専門委員長	なし	獨協大学教授	
理事	非常勤	鈴木 厚志	平成 30 年 6 月 23 日	資格専門委員長	なし	立正大学教授	
監事	非常勤	石川 義孝	平成 30 年 6 月 23 日		なし	帝京大学教授	
監事	非常勤	川口 太郎	平成 30 年 6 月 23 日		なし	明治大学教授	

② 職員に関する事項

令和元年度末現在

勤務形態	当期末 (令和 2 年 3 月末)	前期末比増減
常勤	1 名	0 名
非常勤	3 名	0 名

③ 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年6月1日	1. 会員の入退会について 2. 2018年度の事業報告について 3. 2018年度の収支決算報告について 4. 2019年度定時総会の開催について 5. 監査報告	承認 承認 承認 承認 承認
令和元年9月28日	1. 会員の入退会について	承認
令和元年12月14日	1. 会員の入退会について	承認
令和元年3月8日	1. 会員の入退会について 2. 財務報告について 3. 令和2年度事業計画案について 4. 令和元年度補正予算・令和2年度収支予算案について 5. 名誉会員の推薦について 6. 臨時総会の中止について 7. 定時総会の開催について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和元年6月22日	1. 2018年度事業報告の承認に関する件 2. 2018年度収支決算の承認に関する件	全会一致で承認 全会一致で承認

事業報告の附属明細書

該当なし